

公益社団法人 日本交通計画協会

平成26年度 第2回理事会議事録

1. 開催日時 平成27年1月26日(月) 10時00分より11時00分まで

2. 開催場所 公益社団法人 日本交通計画協会
3階 A会議室

所在地：東京都文京区本郷3丁目23番1号

3. 理事現在数 7名
監事現在数 2名

4. 出席理事数 6名
出席監事数 2名

(出席理事) 高橋洋二、中田康弘、岸井隆幸、川畑信之、飯塚義和
石川雅康

(欠席理事) 石川次男

(出席監事) 須原庸次、曾田祐司

5. 開 会

定刻に至り、事務局より開会が宣言され、本日の理事会は定款第32条第1項による定数を満たしたので、有効に成立したことが報告された。

代表理事 高橋洋二は定款第31条により、本理事会の議長を務めることとなった。

6. 議事録署名人の選出

議事に先立ち、定款第34条第2項により議事録署名人は次の四名となった。

- ・代表理事 高橋洋二
- ・代表理事 中田康弘
- ・監 事 曾田祐司
- ・監 事 須原庸次

7. 議題

本日の議題は次のとおりであることを確認した。

承認事項

第1号議案 入社希望者に対する入社承認の件

報告事項

報告第1 職務執行報告

報告第2 今後の公益事業の拡充について

8. 議事の経過及び議決の結果

承認事項として以下の議案について、承認を諮った。

第1号議案 入社希望者に対する入社承認の件

議長は上記1議案につき説明を求めた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により、電気技術開発株式会社より入社希望が提出されていること、同社の会社概要、事業内容について説明をした。

電気技術開発株式会社は鉄道・新交通システム等の電力・信号通信設備や連立事業などの案件に携わっていた旨を報告した。

また、現在の社員数について104名に達していることについても報告した。

同報告説明に対しての質疑応答は特になし。

議長は本議案につきこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、同社に対する入社を承認した。

報告事項として以下の議案について、報告を行った。

報告第1 職務執行報告

議長は上記議案につき報告をさせた。代表理事中田康弘は、別掲議案書により本年度の中間報告として、刊行物発行事業、講習会・シンポジウムの開催、技術者研修事業、海外調査研究事業、国際会議・催し物等開催協力、広報関係事業、受託案件調査研究事業の実績についての報告を行った。

同議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(岸井理事) 受託調査研究事業の状況について、予算と比べるとど

うか？

(石川業務執行理事) 現時点では、予算に達してはいないが、これから受託する予定がいくつかあると聞いている。今年度の最終的な状況は、昨年度並みか昨年度を上回る予想をしている。

報告第2 今後の公益事業の拡充について

議長は上記議案につき報告をさせた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により現在計画中の新事業の報告として、新しい形態の講習会事業の設立についての報告を行った。

同議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(飯塚理事) 募集の工夫はどうしているか。

(石川業務執行理事) 今まではDM形式で行っていたが、今後はHPや口コミで広げていく。色んなところにアクションを起こす必要がある。

(飯塚理事) 学生にも門を開くのか。

(石川業務執行理事) ゆくゆくは若い方(学生等)を含めたセミナーを行い、交通計画・都市計画について討論していく場にし、それを土台に協会の自主研究の基にして、社会に訴えていく。

(高橋代表理事) 会員だけの研修会やセミナーだと公益性がないので、これからはオープンにしていく。新しく間口を開くことで新たな問題点も出てくる可能性もあるが、挑戦していきたい。

(石川業務執行理事) 8月に行ったミニ講演会の時も単にDMやHPだけではなく、直接コンタクトを取り、特に若い世代の方に来て頂いたので、色々な方法を使って、多くの方に来て頂けたらと思う。

(高橋代表理事) 第2回以降のテーマについて固めていくことも必要で、このような講習会形式以外にも公益事業として新たな仕事を拡充していく必要もある。

(川畑理事) 講習会の募集人数が20人程度というのは、講習後の意見交換などを考えると運営上やりやすいが、会議室には何名ぐらい入れるのか。

- (石川業務執行理事) テーブルを出すと30人くらいが限度だが、椅子だけの場合は約50名程度可能。しかし、そのような形式が良いかは検討する必要がある。
- (高橋代表理事) パネルディスカッションやワークショップなどこの講習会のやり方や、テーマ、分野などについて他に意見はありますか。
- (川 畑 理 事) 協会の事業の評価の基準はどのようになっているのか。協会の考える公益事業とは何なのか。
- (高橋代表理事) 公益団体では社員だけではなく社会全体に開いて貢献することが求められ、社会との繋がりが広がることが一つの活動であり、新しい段階に対応することになる。評価については、社員だけではなく社会全体で議論されることで、今後の事業拡大につながるものが長期的には期待できると考えている。
- (川 畑 理 事) 開催することそのものが公益事業に繋がると思うが、捉え方を知りたかったので質問した。
- (石川業務執行理事) 参加者からの評価もあるが、公益法人としては「何をすることができたのか」「どういう展開があったのか」という部分が社会的に評価されていくのではないかと。
- (岸 井 理 事) 新たに始めようとしている講習会の形式としては名前を決めて「第何回」という風にされた方がいいのではないかと。講師を誰にするかによってテーマを決めたり、社員の満足度を高めるために、リクエストを聞く方法もある。また、講師から講師へ違う分野の方を紹介してもらおう方法もあるのではないかと。最初がいいが、数回目には講師の紹介で違う分野のファンを広げていけるのではないかと。また、講義の成果をHPに載せるのもいいのではないかと。
- (高橋代表理事) 試験的に行った8月の時は参加者の声を聞きましたか。
- (石川業務執行理事) アンケートをとりました。
- (高橋代表理事) さらに公益事業の拡充を考えているので、その都度、理事の皆様のご意見を伺いたい。

その他の事項

議長は、今後の協会の業務内容等についての意見等を議場に諮ったが、質疑応答は特になかった。

また事務局より、平成27年6月中旬から下旬頃に第3回理事会を開催したい旨を説明した。

理事・監事全員で協議したところ、平成26年度第3回理事会を平成27年6月22日（月）10時より、開催することを決定した。

9. 閉 会

以上をもって平成26年度第2回理事会の議事を終了したので、議長高橋洋二は、11時00分閉会を宣し解散した。

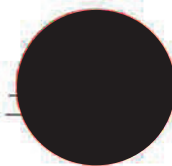
上記の議事を明確にするため本議事録を作成し、出席した代表理事及び監事は下記に記名、押印する。

以 上

平成27年1月26日

公益社団法人 日本交通計画協会 平成26年度 第2回理事会

代表理事 高 橋 洋 二



代表理事 中 田 康 弘



監 事 曾 田 祐 司



監 事 須 原 庸



本議事録の作成に関わる職務を行った者の氏名

業務執行理事 石川雅康

事務局副主幹 大溪はつみ